



# 静岡西ロータリークラブ会報



会 長 水元正宏  
 会長 渡辺憲治  
 副会長 高橋雅実  
 幹 事 加藤博一

例会日 毎週水曜日 12:30  
 但し第一水曜日 18:30  
 例会場 ホテルセンチュリー静岡  
 TEL. 054-284-0111

2010～2011年度  
 国際ロータリー会長  
 レイ・クリンギンスミス

事務所/静岡市葵区伝馬町9-3 芝田ビル3F  
 TEL054-254-5611 FAX054-221-0515  
<http://www.fuji.ne.jp/~rcsw/>

WEEKLY BULLETIN

## 第1718回 2011年6月15日 (2010年～2011年) No.1701

### ◎ロータリーソング

「我らの生業」  
 ソングリーダー 白鳥三和子君

### ◎お客様紹介

神谷 幸恵様  
 湯泉 里映様

### ◎会長挨拶 会長 水元 正宏君

「ロータリークラブを理解してもらおう」

こんにちは

今日は、ロータリアンの資格について皆さんと共に考えてみたいと思います。

先日、娘から「お父さんはロータリーに入っている資格がないよ」と言われました。皆さんは、ご家族から、そのような事を言われたことがないでしょうか。娘に「なぜ?」と聞いたところ「ロータリーは地位や名誉のある人、お金持ちの人が入るクラブだから」と言う。

娘は、東京で、いくつかのロータリークラブで卓話をしていくうちに、そこで知り合った人と私を比較して、そのように結論づけられたらしい。

私は娘に、ロータリークラブとは、そんな所ではなく、同じ目的をもった仲間が集い、自分の職業を通して出来ない奉仕活動をしていく所だと言う事を説明し、社会的地位がなくても、お金持ちでなくてもロータリアンになれる旨を話し理解を得た。

娘との会話を通し、世間一般では、ロータリークラブを娘と同じように考えている人が多く、このような人達が多くいるうちは、ロータリークラブの発展は、なかなか望むことが出来ないのではないかと考えました。

私たち、ロータリアンは、世間の人達にロータリーをもっと、もっと正しく理解して頂く努力をすることが必要であると考えました。

### ◎スマイル発表と出席報告

田中 耕二君

会員41名中 32名出席

先々週の改正出席率 80.56%

杉山元君：本日は「ピアノと童話の世界」によるこそおいで下さいました。神谷さん、ゆいずみさん、素敵な癒しの世界、どうぞよろしくお願ひします。

鈴木英生君・富田英児君・西前寛丈君・田中耕二君・沼田時子君：

ピアノと童話の世界に期待してスマイル!!

渡辺憲治君：6月12日(日)地区の会員増強維持セミナーに内田勉さんと一緒に行ってきました。「秘策」は見えませんでした、皆出席!その熱意だけは伝わりました。

木宮満彦君：隠元禅師が創設した黄檗宗の萬福寺より、名誉管長に推挙されました。

中村孝昭君：先週のスマイル原稿、富田和雄さんとすべきところを英児さんと書いてしまいました。会報の訂正が間に合わなくてすみませんでした。ゴメンナサイ!!

### ◎育成会

水元 正宏君・白鳥 勝平君・榊 一夫君

### ◎朗読コンサート

朗 読

ピアノ

神谷 幸恵様

湯泉 里映様



静岡新聞

平成23年六月二十日朝刊

スタンドグラス 偶が毎日、社会奉仕活動の一環として、静岡市葵区井宮町の児童養護施設「ステンドグラス」で静岡西ロータリークラブの会報を贈った。

「ステンドグラス」は、本会が10月、社会奉仕活動の一環として、静岡市葵区井宮町の児童養護施設「ステンドグラス」で、ステンドグラスの製作講習会を開催した。

ロータリークラブ会報「ステンドグラス」は、本会が10月、社会奉仕活動の一環として、静岡市葵区井宮町の児童養護施設「ステンドグラス」で、ステンドグラスの製作講習会を開催した。

「ステンドグラス」は、本会が10月、社会奉仕活動の一環として、静岡市葵区井宮町の児童養護施設「ステンドグラス」で、ステンドグラスの製作講習会を開催した。

「ステンドグラス」は、本会が10月、社会奉仕活動の一環として、静岡市葵区井宮町の児童養護施設「ステンドグラス」で、ステンドグラスの製作講習会を開催した。

「ステンドグラス」は、本会が10月、社会奉仕活動の一環として、静岡市葵区井宮町の児童養護施設「ステンドグラス」で、ステンドグラスの製作講習会を開催した。

「ステンドグラス」は、本会が10月、社会奉仕活動の一環として、静岡市葵区井宮町の児童養護施設「ステンドグラス」で、ステンドグラスの製作講習会を開催した。

「ステンドグラス」は、本会が10月、社会奉仕活動の一環として、静岡市葵区井宮町の児童養護施設「ステンドグラス」で、ステンドグラスの製作講習会を開催した。

(文責・写真: 川崎 友和)